2

3

4

O

1

2

東京都中学校英語スピーキングテスト事業 令和2年度実施概要

事業概要

(1) 実施目的及び基本スキーム

中学生のスピーキング能力を把握するため、都教委と事業者が協定を締結し、都教委 の監修の下に作成した問題により、新たなスピーキングテストを共同で実施

(2) 導入までのスケジュール ※令和2年6月に当初のスケジュールを変更

平成 30 年度 フィージビリティ調査:8校(抽出校) 約1,000 人

令和元年度 プレテスト: 77校(抽出校) 約8,000人

令和2年度 確認プレテスト①:8校 約600人

校内体験版プレテスト:93 校 約8,600人

令和3年度 確認プレテスト②:都内公立中学校等全校 約80,000人

令 和 4 年 度 中学校英語スピーキングテスト: 都内公立中学校等第3学年全生徒

※ 都立高校入学者選抜に結果を活用(予定)

確認プレテスト①及び校内体験版プレテスト実施概要

(1) 期 間

令和2年10月21日(水)~ 令和2年12月11日(金)

(2) 対 象

都内公立中学校等(抽出)

(3) 実施校数及び受験者数

101校約9,200人

(4) 会 場

<u>ア</u>外部会場(大学、専門学校、民間施設) 5 会場 イ 中学校会場 96 会場

(5) 方 法

| タブレット端末、イヤホンマイク、防音用イヤーマフを使用し、 解答音声を録音する方式

スピーキングテストの内容及び結果

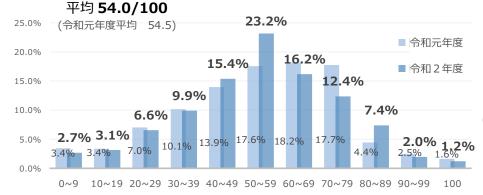
(1) 出題形式と評価の観点

Part	出題形式	出題数	評価の観点※		
Part	山旭/沙八	山咫奴	ア	7	Ð
Α	A 英文を読み上げる				~
В	質問を聞いて応答する/ 意図を伝える	4	>		
С	こ ストーリーを英語で話す		V	V	V
D	自分の意見を述べる	1	V	V	V

※評価の観点

- ア コミュニケーションの達成度(2段階) ・コミュニケーションの目的の成立
- イ 言語使用(5段階)
- ・語彙、文構造、文法の適切さ及び正しさ ・内容の適切さ(一貫性・論理構成)
- ウ 音声(4段階)
 - ・発音 ・強勢 ・イントネーション

(2) スコア度数分布



(3) 各観点の評価割合及び傾向

ア コミュニケーションの達成度

Part B			Part C				Part D		
No.1	No.2	No.3	No.4	1 37	2]7	3]7	4]7	意見	理由
73.5	45.8	80.6	41.3	66.6	38.6	34.9	37.6	70.9	53.7

解答すべき内容が明確で、語句単位で表現できる問題では、正答率が高い。一方で、「場面に応じて 適切に表現する」、「状況を描写する」、「意見の根拠を伝える」といった問題では、正答率が低い。

イ 言語使用

0.0% 1 12.1% 72.0%

「語彙や表現は限られているが、単語や語句を、接続詞を使って話すことができる」との 評価が7割を上回っている。

ウー音声

7.4% 36.0%

「発音、リズムや抑揚に課題があったり、解答中に沈黙したり言いよどんだりしているが、 コミュニケーションに支障がない程度の発音で話されている」との評価が5割を上回って いる。

(4) アンケートより

- (生徒) ○もっと英語が話せるようになりたい。 ○自分の課題が分かった。
 - ○書くことと違って上手くいかなかった。でも話すことは楽しいので、頑張りたいと思った。
 - ○説明が分かりやすく、初めてでもスムーズに行えた。
 - ○ヘッドフォンのおかげで集中してテストに取り組めた。
- (教員) ○話すことを評価されることで、生徒の学習への意欲が高まると思う。
 - ○自分で考え、話そうとする姿勢が見られた。

4 主な検証・検討事項と今後の方向性

※ 令和3年度欄 記号凡例 →:確認プレテスト②で継続して検証する事項 ◎:検討を行い確定する事項

項番	検証・検討事項	令和2年度 (確認プレテスト①)	令和3年度 (確認プレテスト②)	令和4年度以降 (本格実施)	
1	感染症対策	○ 東京都のガイドラインに基づく対応	→ 継続		
2	WEB による個人受験申込	○ 大多数の受験者が円滑に申込みを完了○ 教員・生徒向け案内冊子の配布○ 問合せ窓口の設置○ 動画による申込み方法の周知	→ WEB サイトの改善→ 案内冊子の一層の充実→ 問合せ窓口や動画の一層の活用を促進	令和3年度までの検証・ 検討を踏まえた更なる改善 公正性・公平性・安定性を	
3	会 場	○ 外部会場における円滑な実施	→ 外部会場(民間施設、都立高校等)及び中学校 において実施◎ 令和4年度以降の会場の決定	担保して実施	
4	機器の操作説明・指示	○ アプリを利用した説明・指示による円滑な 実施	→ アプリの更なる改良	令和4年度の予定	
5	結果返却 等	○ 評価方法の検討○ 生徒、学校に結果を返却、区市町村教育委員会に実施報告書を送付○ 都立高校入試における選抜資料としての活用方法の検討	→ 継続	実施日 11月27日(日) 予備日 12月18日(日)	
6	「話すこと」の 指導の充実	○ 校内体験版プレテストの実施○ 問題動画及び音声による解答例の公表○ 全中学校へ問題及び問題活用事例集の配布	→ 公表資料の活用例の周知(区市町村対象・学校対象説明会の実施、等)		

5 新しいテスト名称



ESAT-J

English Speaking Achievement Test for Junior High School Students ※読み方:イーサット・ジェイ

中学校英語スピーキングテストの名称を「ESAT-J」とする。(事業名:東京都中学校英語スピーキングテスト事業)

令和2年度 プレテスト スクリプト

Part A

Part A は、全部で2問あります。聞いている人に伝わるように、英文を声に出して読んでください。はじめに準備時間が30秒あります。解答時間は30秒です。

録音開始の音が鳴ってから解答を始めてください。

[No.1]

あなたの学校に留学生が来ました。あなたは朝会で東京の紹介を行う前に、あいさつをすることになりました。次の英文を 声に出して読んでください。

(準備時間30秒/解答時間30秒)

No.

Welcome to Tokyo. Is this your first time here? There are many different places to see. First, we'll tell you about some good parks to visit. After that, we'll talk about the most popular streets for shopping in Tokyo.

[No.2]

あなたは留学中です。放送部に所属しているあなたは、朝の校内放送で新聞部からの連絡事項を伝えることになりました。 次の英文を声に出して読んでください。

(準備時間30秒/解答時間30秒)

No 9

Good morning everyone. The school newspaper club is making a special paper with stories about last week's school trip. Did you take any good pictures? If so, please put them into the box in the teachers' room by next Thursday.

Part B

Part B は、全部で 4 問あります。 質問に答える問題が 3 問と、あなたから問いかける問題が 1 問です。 画面上の情報を見て、英語で話してください。 準備時間と解答時間はそれぞれ 1 0 秒です。

録音開始の音が鳴ってから解答を始めてください。

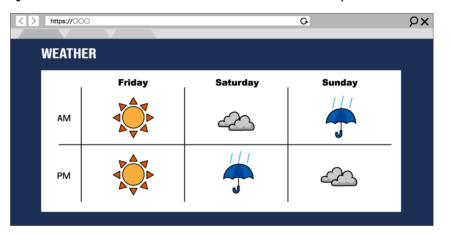
No. 1 と No. 2 は、与えられた情報をもとに英語で適切に答える問題です。

[No.1]

あなたは外国人の友だちと出かける予定を立てていて、パソコンで天気予報を見ています。友だちからの質問に対して、画面上の天気予報をもとに、英語で答えてください。

(準備時間10秒/解答時間10秒)

Question: How will the weather be on Saturday afternoon?



解答例: It will be rainy.

[No.2]

あなたは留学中です。あなたは今、学校の授業参観の時間割を見ています。ホストファミリーのお母さんからの質問に対して、画面上の時間割をもとに、英語で答えてください。

(準備時間10秒/解答時間10秒)

Question: When does your first class start?

Open Class				
Friday, October 30th				
Math	8:25 – 9:30 am			
Science	9:35 – 10:40 am			
English	10:45 – 11:50 am			

解答例: It starts at 8:25 am.

No. 3 と No. 4 は、同じ場面での問題です。

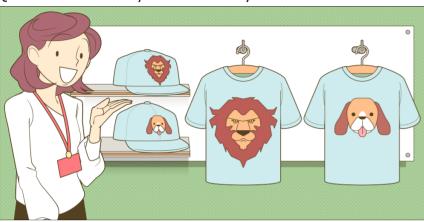
No. 3 は、質問に対するあなた自身の答えを述べる問題で、No. 4 は、あなたから問いかける問題です。

[No.3]

あなたは留学中です。あなたは、お店に友だちへのプレゼントを買いに来ました。店員からの質問に対して、画面上の商品をもとに、あなた自身の答えを英語で述べてください。

(準備時間10秒/解答時間10秒)

Question: What do you want to buy?



解答例:

- I want to buy the cap with the lion (on it).
- I want to buy the cap with the dog (on it).
- I want to buy the T-shirt with the lion (on it).
- I want to buy the T-shirt with the dog (on it).

I see. Here are some message cards.

[No.4]

次にあなたは、プレゼントと一緒に渡す無料のメッセージカードを見ています。画面上の情報をもとに、あなたが欲しいカードを店員からもらえるように英語で頼んでください。

(準備時間10秒/解答時間10秒)



解答例:

Can I get the card with the [flower/star/car] on it?
May I have the card with the [flower/star/car] on it?
Will you give me the card with the [flower/star/car] design?
The card with the [flower/star/car] design, please.

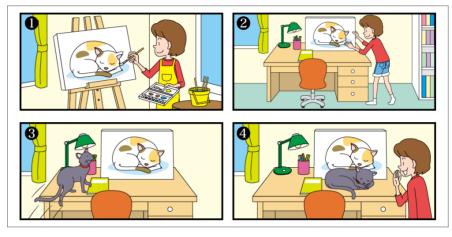
Part C

Part C は4コマイラストの問題です。これから画面に表示される1コマめから4コマめのすべてのイラストについて、ストーリーを英語で話してください。 はじめに準備時間が3 0 秒あります。 解答時間は4 0 秒です。 この Part には例題はありません。

録音開始の音が鳴ってから解答を始めてください。

あなたは、昨日あなたに起こった出来事を留学生の友だちに話すことになりました。イラストに登場する人物になったつもりで、相手に伝わるように英語で話してください。

(準備時間30秒/解答時間40秒)



解答例:

- 1 I painted a picture of a sleeping cat.
- 2 After that, I put the picture on the desk.
- 3 Then, my cat stood on the desk.
- 4 It began to sleep in front of the picture.

Part D

Part D は、質問に対して、自分の考えとそう考える理由を英語で述べる問題です。はじめに準備時間が 1 分あります。解答時間は 4 0 秒です。この Part には例題はありません。

録音開始の音が鳴ってから解答を始めてください。

あなたは国際交流のイベントで発表することになりました。次の質問について自分の考えを述べ、その理由を詳しく説明してください。日本のことを知らない人にも伝わるように英語で話してください。

(準備時間1分/解答時間40秒)

What's the most popular event at your school? Answer the question and explain why people like it.

解答例1:

The most popular event at my school is the school trip. It's popular because students can go to new and interesting places with their classmates. It's also a good chance for students to learn more about their classmates by spending more time with them.

解答例 2

The most popular event at my school is sports day. It's popular because students get excited to win. Some students don't like sports, but it's a good chance for all students to work together as a team.

※このテスト問題及びそれに付随する採点基準・解答例の著作権は、試験実施団体に帰属します。